GPS機能

GPSのご利用について 280
現在地の地図を見る ..... ＜現在地確認＞ 280
GPS対応 i アプリを利用する 281
ナビを使う（地図アプリ for らくらくホンを利用する） 281
現在地をメールで送る 285
GPS以外の機能から位置情報を利用する 286
音声電話中に位置確認／メール送信をする 287
要求に応えて現在の位置情報を提供する ..... ＜位置提供＞ 287
現在の位置情報を通知する ..... ＜現在地通知＞ 289
測位の履歴を表示する ..... ＜位置履歴＞ 291
GPSの設定をする 292

GPSのご利用について

GPS利用時の留意事項

- FOMA端末の故障や誤動作、不具合、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害や位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- 次の状態や環境下では、人工衛星の電波を正常に受信しにくい、または受信できない可能性があります。
  - 樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - 手などで覆っていたり、かばんなどに入れていたりする
  - FOMA端末を閉じている
  - 周囲に障害物（人や物）がある

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- 圏外または海外では、現在地確認を除きGPS機能をご利用いただけません。

現在地確認

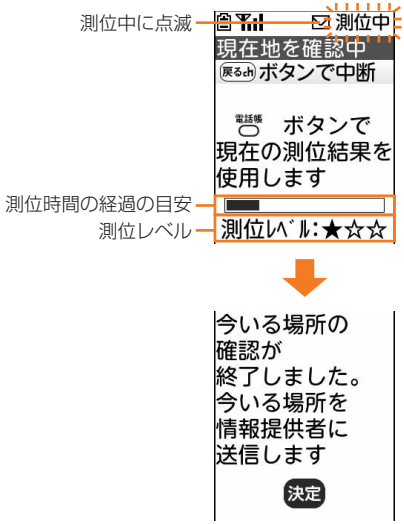
現在地の地図を見る

今いる場所を測位し、現在地の地図を見ます。位置情報はナビソフトの情報提供者に送信されます。

- 位置提供または現在地通知により現在地を測位しているときは現在地確認できません。
- 圏外または海外でも、見晴らしのよい場所であれば測位できる場合がありますが、時間がかかるなど通常とは動作が異なったり、周囲の状況によっては測位できなかったりすることがあります。また、測位を行った後に地図を見たりメールで送ったりすることはできません（位置情報は位置履歴に保存されます）。
- GPSを利用する現在地確認にはパケット通信料はかかりません。地図を見る場合はｉモードを利用するため、別途パケット通信料がかかります。

1 待受画面で(テレビ電話)を1秒以上押す

測位を行います。



- 測位レベルのマークの意味は次のとおりです。

  ★★★：ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね50m未満）

  ★★☆：比較的正確な位置情報（誤差がおおむね300m未満）

  ★☆☆：おおよその位置情報（誤差がおおむね300m以上）

※ 測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

- 測位中に戻るまたは☎を押すと、測位を中断します。
- ガイド行の右側に「利用」が表示されているときに電話帳を押すと、その時点での位置情報を利用できます。

2 **決定を押す**

位置情報がナビソフトの情報提供者に送信されます。その後、ナビソフトが起動して今いる場所の地図が表示されます。

GPS対応 i アプリを利用する

GPS対応 i アプリを利用すると、利用する i アプリの情報提供者に位置情報を送信したり、現在地や指定した場所の地図を見たりすることができます。

- GPS対応 i アプリで各種のGPS機能を利用する場合、利用する i アプリの動作条件の設定で「位置情報の設定」を「利用する」に設定する必要があります。→p.270
- ナビソフトとして利用するには、 i アプリの起動ソフト設定の「ナビソフト」に設定する必要があります。→p.271
- お買い上げ時には、GPS対応 i アプリとして「地図アプリforらくらくホン」が登録されています。
- GPS対応 i アプリを終了するには、それぞれの i アプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。

ナビを使う（地図アプリforらくらくホンを利用する）

お買い上げ時に登録されている「地図アプリforらくらくホン」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどあらゆることができます。また音声で入力することで簡単に操作することができます。

- ご利用には別途、パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルのご利用をおすすめいたします。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。

1 **待受画面でメニュー▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「2ナビを使う」を押す**

地図アプリforらくらくホンのメニューが表示されます。

基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。

基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス

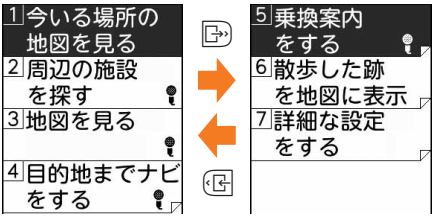
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

- 初めて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン 地図+ナビ」の会員登録（有料）が必要です。
- 本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内　容	91日以降
今いる場所の地図を見る	• GPS機能を利用して、今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。	無料
周辺の施設を探す	• 今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設などの情報を調べます。 • 音声で入力して調べることもできます。	無料
地図を見る	• フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を見ます。 • 音声で入力して調べることもできます。	無料
	• 登録している地点や履歴の地図を見ます。 • サーバに地点を登録すると、パソコンと登録地点を共有します。	有料
目的地までナビをする	• 目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めたナビをします。 • 登録した自宅まで簡単にナビをします。 • 音声で入力して調べることもできます。	有料
乗換案内をする	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。 • 音声で入力して調べることもできます。	有料
散歩した跡を地図に表示	• 動いた軌跡、移動時間、移動距離、時速を地図に表示します。 • microSDカードに軌跡を保存します。	無料
詳細な設定をする	• 地図表示、ナビ表示などの設定、使いかたの確認をします。	無料

「地図アプリforらくらくホン」メニューの画面と操作

- 画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。
- 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。
- メニュー表示中にメニューを押すと、前回検索した地図が表示されます。

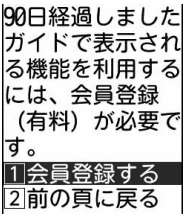


＜地図アプリ for らくらくホンのメニュー画面＞

■ 会員登録をせずに90日を過ぎた場合

91日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

- 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン 地図+ナビ」のサイトで会員登録します。



地図の画面と操作

©2008 ZENRIN DataCom CO., LTD

＜地図表示画面＞
（現在地の地図の場合）

- 地図画面では次の操作ができます。
  メニュー：メニューを表示します。
  決定：地図利用メニューを表示します。
  電話帳：縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は✉、詳細表示する場合はi-αを押します。電話帳を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
  ✉ i-α ◁ ▷：地図を上下左右に移動します。
  ＊：地図を左に回転します。
  0わん：北を上にして地図を表示します。
  #マナ：地図を右に回転します。
- 地図利用メニューでは次のメニューを利用できます。

メニュー項目	動　作
1 この場所の住所を表示する	地図の中心の住所や周辺の情報を表示します。
2 この場所に行く	地図の中心を目的地としてナビをします。
3 この場所の周辺施設を探す	表示している地図の周辺情報を調べます。
4 この場所でタクシーを呼ぶ	表示している地図周辺で呼ぶことができるタクシー会社を探します。
5 この場所をメールで送る	表示している地図のURLをメールで送ります。
6 この場所を登録する	表示している地点を本ソフトやサーバ、電話帳に登録します。
7 この場所を自宅に登録する	表示している地点を自宅として本ソフトに登録します。
8 地下鉄の出口を探す	表示している地図に地下鉄の出口をマークします。

ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）します。

1 地図アプリforらくらくホンのメニュー画面で「4 目的地までナビをする」▶「1 ナビをする」を押す

2 出発地欄を選択▶決定▶項目を選択▶決定▶出発地を設定する

項　目	動　作
現在地（GPS）	現在地を測位して設定します。
地図上で指定	地図で出発地を設定します。
住所を検索	住所を検索、選択して設定します。
駅を検索	駅を検索して設定します。
施設を検索	施設を検索、選択して設定します。
電話番号	電話番号で検索して設定します。
郵便番号	郵便番号で検索して設定します。
履歴から	過去に検索した場所から設定します。
登録地点から	本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定します。
自宅	自宅の位置情報を設定します。
出発地の確認	出発地の情報を確認します。

3 目的地欄を選択▶決定▶項目を選択▶決定▶目的地を設定する

- 操作2と同様の操作で設定します。

4 時間指定欄を選択▶決定▶項目を選択▶決定▶時間指定を設定する

項　目	動　作
現時刻で指定	現在の時間でルートを調べます。
出発時刻指定	出発時間を指定してルートを調べます。
到着時刻指定	到着時間を指定してルートを調べます。
終電を利用	当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

5 「1ルート検索」または「2自動車のみ検索」

- すべてのルートを検索する「ルート検索」と自動車ルートだけの「自動車のみ検索」でルートを検索できます。検索結果としてルート（最大6件まで）が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴を表示します。

表　示	意　味
早	到着時間が早いルート
安	運賃が安いルート
楽	乗り換えが少ないルート
オススメ	早／安／楽のすべての条件を満たしたルート
有料	有料道路を使った自動車ルート
一般	一般道路を使った自動車ルート

■ ルートを登録する：**ルート検索結果画面で「ルートを登録する」を押す**

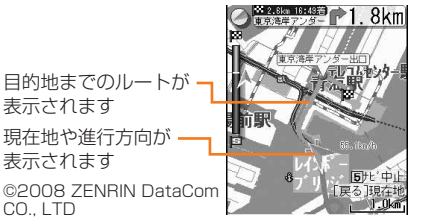
6 ルートを選択▶決定▶「1ナビ・ルートを確認」▶「1ナビ」または「2ナビ（省電力）」▶「1同意の上利用（必読）」を押す

目的地までのナビゲーションを開始します。

■ ルートを確認する：**ルートを選択▶決定▶「1ナビ・ルートを確認」▶「3ルート確認」▶「1同意の上利用（必読）」を押す**

ルート（自動車）／ナビゲーション（自動車）表示の画面と操作

- 画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。



<ナビゲーション（自動車）>

- 目的地までのルートの色は場所によって異なります。通過すると、ルートの色は赤色に変わります。
- ナビゲーション利用時は次の操作ができます。
  - メニュー：ナビを終了し、地図アプリforらくらくホンのメニュー画面を表示します。
  - 決定：地図利用メニューを表示します。
  - 電話帳：縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は、詳細表示する場合はを押します。電話帳を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
  - ：地図を上下左右に移動します。
  - 戻る：現在地の位置に戻ります。
  - 2か：交差点モードに切り替えます。
  - 5な：ナビゲーションの中止／開始を行います。
  - ：地図を左に回転します。
  - 0わん：北を上にして地図を表示します。
  - #マナー：地図を右に回転します。
- 地図利用メニューでは次のメニューを利用できます。

メニュー項目	動　作
1経由地を設定する	目的地までのルートに経由地を2箇所まで加えてルートを検索します。
2ルートを再探索する	現在地から目的地までのルートを再度検索します。
3検索結果と設定画面を表示	ルートの検索結果（時刻や料金など）を表示したり、ナビの設定をしたりします。
4ルートを消去する	表示しているルートを消去します。
5交差点モードへ切り替える	交差点モードに切り替えます。

メニュー項目	動　作
6ルート画面に戻る	メニューを閉じてナビゲーションの画面に戻ります。

音声で入力する

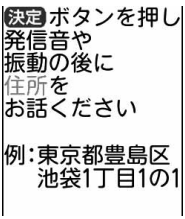
住所や駅名、施設名を音声で入力することで、簡単に操作することができます。

〈例〉地図を音声入力で利用する

1 地図アプリforらくらくホンのメニューで「3地図を見る」▶「1住所で検索」▶「1音声で検索」を押す

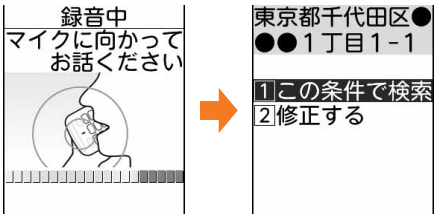
音声入力方法の説明画面が表示されます。

2 入力方法を確認して決定を押す



3 音声入力画面で検索する内容を発声する

発声を終了すると、音声を認識し、確認画面が表示されます。



- 画面は「東京都千代田区●●●1丁目1の1」と発声した場合の例です。
- 認識の結果が間違っていた場合は、音声を再入力してください。

詳細な設定をする

1 地図アプリforらくらくホンのメニューで「7詳細な設定をする」を押す

- 次のメニューを利用できます。

メニュー項目	動　作
1案内の条件を設定する	ナビの音量やルート検索条件、動作の設定をします。
2自宅の場所を登録する	自宅の場所の登録、編集を行います。
3地図全般の設定をする	地図の色や、地図上に周辺情報を表示するかどうかなどを設定します。
4自宅最寄駅を設定する	自宅の最寄り駅を設定します。
5会員情報を確認する	「ゼンリン地図+ナビ」の会員情報を確認します。
6使い方の説明	使い方の説明をします。
7よくある質問	よくある質問と回答を確認します。
8利用規約を確認する	利用規約を確認します。

現在地をメールで送る

今いる場所の位置情報をメールで送信します。

- 送付する位置情報はiモード対応端末でのみ表示できます。

1 待受画面でメニュー▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「3現在地をメールで送る」を押す

測位を行います。測位が完了すると、題名欄に「位置メール」が、本文欄に「私の現在位置はこちらです。」とURL化した位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。

- 測位中の画面の見かた→p.280

2 メールを作成して送信する

- iモードメールの作成・送信方法→p.208、p.212

お知らせ

- ワンタッチダイヤルや音声電話中のサブメニューから、今いる場所を知らせるメールを作成できます。→p.106、p.287
- 電波が入りにくいため測位に時間がかかる旨のメッセージが表示される場合があります。「続ける」を選択すると測位を続けますが、測位には時間がかかります。

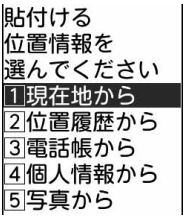
GPS以外の機能から位置情報を利用する

位置情報貼付け／送信／登録

次の場合に位置情報の選択画面が表示されます。

- メール本文の入力中にサブメニューから「位置情報貼付け」を選択する。
- 簡単メール作成画面で「位置情報」を選択する。
- iモードのサイト画面で位置情報送信用のリンク項目を選択する。
- FOMA端末電話帳の詳細画面や個人情報（詳細）画面のサブメニューから「位置情報を登録」を選択する。
- 写真撮影後の確認画面のサブメニューから「位置情報を付加」を選択する。

〈例〉「位置情報貼付け」を選択したとき



1現在地から：現在地確認を行い、測位した位置情報を貼付け／送信／登録します。

2位置履歴から：位置履歴の位置情報を貼付け／送信／登録します。

- 位置履歴がない場合は、位置履歴がない旨のメッセージが表示されます。

3電話帳から：FOMA端末電話帳の検索結果一覧に、位置情報が登録された電話帳データが表示されます。利用する電話帳データを選択して決定を押すと、位置情報を貼付け／送信／登録します。

- FOMA端末電話帳に位置情報を登録する場合は選択できません。
- 位置情報が登録された電話帳データがない場合は、該当するデータがない旨のメッセージが表示されます。

4個人情報から：端末暗証番号を入力すると、個人情報に登録された位置情報を貼付け／送信／登録します。

- 個人情報に位置情報を登録していない場合は、位置情報がない旨のメッセージが表示され、位置情報を貼付け／送信／登録できません。

5写真から：アルバム一覧が表示されます。位置情報の付いた写真を選択し、決定を押すと、位置情報を貼付け／送信／登録します。

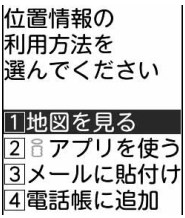
- 位置情報の付いた写真がない場合は、選択できる写真がない旨のメッセージが表示されます。
- メール本文に貼付けたときは、「▷」とURL化した位置情報が入力されます。送付する位置情報はiモード対応端末でのみ表示できます。

- iモードメールの作成・送信方法→p.208、p.212

位置情報の利用

次の場合に位置情報の利用方法の選択画面が表示されます。

- 位置情報が登録されたFOMA端末電話帳の詳細画面で、▷を選択して決定を押す。
- 位置情報が登録された個人情報（詳細）画面のサブメニューから「位置情報を利用」を押す。
- 位置情報付きの画像を選択してサブメニューから「位置情報を利用」を押す。



1 **地図を見る**：「1送信する」を押すと、位置情報がナビソフトの情報提供者に送信されます。その後、ナビソフトが起動して今いる場所の地図が表示されます。
- パケット通信料がかかります。

2 **iアプリを使う**：利用するGPS対応iアプリを選択し決定を押すと、iアプリが起動します。

3 **メールに貼付け**：題名欄に「位置メール」が、本文欄に「位置情報付きメールです。」とURL化した位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。
- 送付する位置情報はiモード対応端末でのみ表示できます。
- iモードメールの作成・送信方法→p.208、p.212

4 **電話帳に追加**：追加する電話帳を選択し決定を押すと、電話帳に位置情報が追加されます。
- 位置情報を登録している電話帳を選択したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

音声電話中に位置確認／メール送信をする

音声電話中に今いる場所を地図で見る

音声電話中に今いる場所を地図で表示し、通話中の相手と自分におおよその住所をガイダンスでお知らせします。位置情報は情報提供者に送信されます。
- パケット通信料がかかります。

1 通話中にメニュー▶「8現在地を見る」を押す

測位を行います。測位が完了すると、場所の確認が終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか約2秒たつと位置情報が送信され、今いる場所の地図が表示され、受話口から測位した位置情報のガイダンスが流れます。このとき、通話中の相手にも位置情報をガイダンスでお知らせします。
- 測位中の画面の見かた→p.280
- 戻る▶「1終了する」の画面に戻ります。

※ 通話中の相手が音声通話を切っても、地図の表示は終了しません。

音声電話中に位置情報をメールで送る

音声電話中に今いる場所の位置情報をメールで送信します。
- 電話帳データに通話中の相手のメールアドレスを登録しているときに、自動で位置情報をメールで送信します。
- 該当する電話帳データにシークレット属性を設定してシークレットモード中でない場合や、個人情報表示制限中は送信できません。
- 同じ電話番号を複数の電話帳に登録している場合の送信先は、次の電話帳の優先順位により決まります（電話帳を利用して発信した場合を除く）。
  ① 最初に登録したFOMA端末電話帳
  ② 後から登録したFOMA端末電話帳
  ③ FOMAカード電話帳

1 通話中にメニュー▶「7現在地を送る」を押す

測位を行います。測位が完了すると、題名欄に「位置メール」、本文欄に「私の現在位置はこちらです。」とURL化した位置情報が入力されたメールが通話中の相手に送信されます。
- 測位中の画面の見かた→p.280
- 電話帳データに複数のメールアドレスを登録しているときは、メールアドレスの選択画面が表示されます。送信するメールアドレスを選択▶決定を押します。

位置提供

要求に応えて現在の位置情報を提供する

位置提供を行うかどうかを設定します。
- 位置提供を利用するには、本設定を「受信する」に設定する必要があります。
- 位置提供を利用するには位置提供機能に対応したサービス提供者へのお申し込みや、サービスごとの利用設定が必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。ご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。

- 他の機能から、または位置提供により現在地を測位しているときや圏外にいるとき、セルフモード中、ナビソフトでｉモード通信中、赤外線通信中、ソフトウェア更新中は位置提供できません。また、測位中に電池が切れたり、おまかせロックがかかったりしたときは、測位は中断されます。
- 「受信する」に設定すると、操作を行わなくても位置情報が送信され、検索者に通知される場合があります。
- 位置提供は利用料がかかりません。

1 待受画面でメニュー▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「1位置提供機能の詳細を設定する」▶「1位置提供機能を設定する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

位置の検索要求を受信するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1受信する」または「2受信しない」を押す

位置の検索要求を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「受信する」に設定中は、待受画面にが表示されます。

位置提供の要求があると

〈例〉サービスごとの利用設定を「許可」に設定しているとき

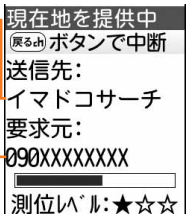
測位を行い、位置情報を送信します。**測位中**が点滅し、音が鳴り、ランプが点灯し、バイブレータが振動します。

FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「位置提供中」と表示されます。

送信先名

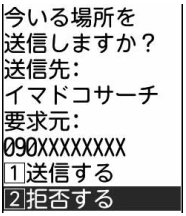
要求者ID（電話番号やメールアドレスなど）

- 要求者IDは表示されない場合があります。
- 要求者IDが電話帳データと一致した場合は、電話帳に登録している名前が表示されます。



- 位置提供を中止する場合は戻るまたはを押します。
- サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定しているときは、次の画面が表示されます。「送信する」を選択すると測位を行い、位置情報を送信します。

  FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「位置提供要求受信」と表示されます。



お知らせ

- 位置提供を行っても、電波状態により相手に情報が届いていない場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）中に位置提供の要求があったとき、サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定している場合は位置情報を送信しません。「許可」に設定している場合は、画面が表示され位置情報を送信しますが、音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
- 位置提供の中止を行っても、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。また、緊急通報時に位置情報を送信する場合は中止できません。
- 要求者IDが電話帳に登録している電話番号またはメールアドレスと一致しても、オールロック中やおまかせロック中、個人情報表示制限中など電話帳が利用できない場合や、該当する電話帳データにシークレット属性が設定されていてシークレットモード中でない場合には、電話帳に登録している名前は表示されません。
- イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたときは、次のように動作します。
  - 要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「1送信する」を押すと、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。測位終了後には、精度の高い測位結果が相手に通知されます。
  - 位置提供の確認画面で「1送信する」を押した後に、位置提供を中断しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。

現在地通知

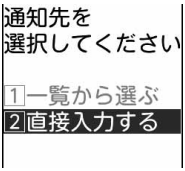
現在の位置情報を通知する

現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。

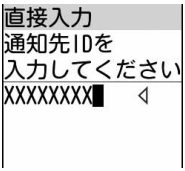
- 現在地通知を利用するには現在地通知機能に対応したサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。ご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。
- 現在地確認または位置提供での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中は、現在地通知はできません。また、ダイヤル発信制限中は通知先IDを入力しての通知はできません。

〈例〉通知先IDを入力して通知する

1 待受画面で▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「2現在地通知先に現在地を送る」を押す



2 「2直接入力する」を押す



■ 一覧から選択する：「1一覧から選ぶ」▶通知する相手を選択する
操作4に進みます。

3 通知先IDを入力▶決定を押す

今いる場所と電話番号をサービス提供者に送信する旨のメッセージが表示されます。

- 半角12文字以内で入力します。

4 決定を押す

測位を行い、位置情報を通知します。測位中は**測位中**が点滅します。

- 測位中に戻るまたは☎を押すと通知を中断します。

5 送信結果を確認▶決定を押す

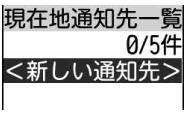
メニュー画面に戻ります。

現在地の通知先一覧に通知先を登録する

通知先を登録すると、現在地通知を行うときに一覧から選択して通知できます。特定の相手に音声電話またはテレビ電話を発信すると、登録した通知先IDに現在地の通知を行うようにも設定できます。

- 通知先は最大5件登録できます。

1 待受画面で▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「3現在地通知先の一覧を見る」を押す



2 「〈新しい通知先〉」を選択▶決定を押す

- 登録済みの通知先を選択▶決定を押すと、登録内容が確認できます。電話帳を押すと編集できます。

・登録済みの通知先を削除するときは、メニュー▶「3削除する」を選択します。

3 通知先名欄を選択▶決定を押す

通知先の選択画面が表示されます。

4 「2直接入力する」▶通知先名を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

・全角16文字、半角32文字以内で入力します。

■ 電話帳から選択する

①「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する

・検索方法→p.91

② 通知先にする相手を選択▶決定を押す

③ 電話番号欄に入力する電話番号を選択▶決定を押す

通知先名欄に名前が、電話番号欄に電話番号が入力されます。入力された電話番号を登録する場合は、操作6～7の操作は不要です。

5 通知先ID欄を選択▶通知先IDを入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

・契約したサービス提供者から付与される番号を入力します。

・半角12文字以内で入力します。数字、「#」「*」を入力できます。

6 電話番号欄を選択▶決定を押す

電話番号の選択画面が表示されます。

7 「2直接入力する」▶相手の電話番号を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

・半角26文字以内で入力します。数字、「P」「T」「+」「#」「*」を入力できます。

・「1電話帳から選ぶ」を選択した場合の操作は、操作4と同様です。入力済みの通知先名は上書きされます。

8 発信時通知設定欄を選択▶「1送信する」～「3発信時に確認」のいずれかを押す

操作2の画面に戻ります。

・登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信するときに、登録した通知先IDに現在地を通知するかどうかを設定します。

・「送信する」に設定すると、発信時に現在地が通知されます。

・「発信時に確認」に設定すると、発信時に今いる場所を通知先に送信するかどうかの確認画面が表示されます。「送信する」を選択すると、現在地が通知されます。

9 電話帳を押す

現在地通知先を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと現在地通知先一覧画面に戻ります。

お知らせ

・現在地通知を行っても、電波状態により相手に情報が届いていない場合があります。

・現在地通知先一覧で現在地を通知するように設定しても、次の場合は通知できません。

- 発信者番号を通知しないで発信したとき
- 相手がお話し中や圏外などのため通話できないとき

位置履歴

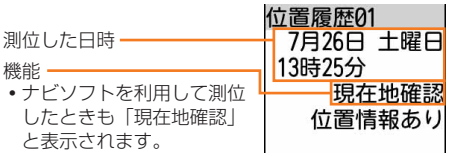
測位の履歴を表示する

現在地確認、位置提供、現在地通知のいずれかの機能で測位した履歴を表示します。

- 位置履歴は最大50件記録されます。50件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 待受画面でメニュー▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「4測位した位置の履歴を見る」を押す

最新の履歴が表示されます。▲▼で前後の履歴を表示できます。



- 待受画面に表示されるお気に入り1／お気に入り2／お気に入り3を選択して決定を押しても表示されます。

■ **位置情報を利用する：利用する履歴を表示▶メニュー▶「1位置情報を利用」を押す**

- 以降の操作→p.286

■ **履歴を削除する：**

① **削除する履歴を表示▶メニュー▶「2削除する」▶「1選択1件」**

- 全件削除するときは、「2全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押します。

② **「1削除する」▶決定を押す**

削除した旨のメッセージが表示されます。

2 詳細を確認する履歴を表示▶電話帳を押す

＜現在地確認＞

＜位置提供＞

＜現在地通知＞

- 決定を押すと位置履歴画面に戻ります。

お知らせ

- 現在地確認で測位を中断したり失敗したりしたときは、履歴に保存されません。また、位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの履歴から、位置情報の利用はできません。
- 位置提供や現在地通知の履歴に位置情報が登録されていても、電波状態によりサービス提供者に送信されていない場合があります。

GPSの設定をする

サービス利用設定

1 待受画面で(メニュー)▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「1位置提供機能の詳細を設定する」▶「2サービスの利用を設定する」を押す

・以降の操作については、各サービス提供者にお問い合わせください。

サービス利用設定サイトの接続先変更〈サービス利用／接続設定〉

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で(メニュー)▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「1位置提供機能の詳細を設定する」▶「3接続先番号を設定する」を押す

GPSの接続先の設定画面が表示されます。

2 「1接続先」を押す

GPSの接続先の選択画面が表示されます。

3 「2ユーザ設定」を押す

GPSの接続先の設定画面に戻ります。

・「1ドコモ」：操作6に進みます。

4 「2ユーザ設定接続先」▶接続先を入力▶決定を押す

GPSの接続先の設定画面に戻ります。

・半角99文字以内で入力します。

5 「3初期画面URL」▶表示するURLを入力▶決定を押す

GPSの接続先の設定画面に戻ります。

・半角100文字以内で入力します。

6 (電話帳)を押す

接続先設定を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。